

桃山学院大学における DX の方針

桃山学院大学は「キリスト教精神に基づく世界の市民の養成」を建学の精神とし、「地域で、世界で、人を支える」という教育ビジョンのもと教育研究活動を行っております。

環境によらず、多くの人とつながりながら協働するための手段として、デジタルライゼーションの必要があり、多様な価値観を認め合いながら、持続可能な社会の実現のために、世界のどこでも誰とでも繋がり、協働を通じて、新しい価値を創造できる人を養成するところにあります。

桃山学院大学ではデジタルライゼーションの先にあるデジタルトランスフォーメーション(DX)への取組を行うために、学院の「DX の方針」に基づき、以下の方針を定めます。

1.学修者本位の教育の実現

デジタル技術の推進による環境整備を行うことにより、学生の学びを可視化するなど、教育環境の改善および新たな付加価値の提供に取り組みます。

2.学びの質の向上

「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」などを推進し、学生のデジタル技術に関する理解を促すよう取り組みます。

3.学修者の成長支援

デジタル技術を活用して、課題解決ができるよう、学修者の成長支援に取り組みます。

本方針に基づき、各年度の事業計画において、立案・実行し、DX を推進していきます。

以上